



たくさんの笑顔

足羽利生苑では、入所されている利用者の方が気軽に買い物ができるように『ニコニコ市場』を開店しました。

一人の職員がリーダーとなり、さまざまな部署と協働しながら始まった今回の取り組み。試行錯誤しながら、たくさんのニコニコがあふれるお店ができました。

ひらめいた!!

「今日は買い物行かんのか？」

ある買い物好きの利用者の方がたずねてきました。入所されている方々の生活の一部で楽しみにされていることに、買い物外出があります。しかし、重い病気をもたれていて外出が難しい方もおられ、いつでも買い物へ出かけることは困難でした。なんとご利用者の方のニーズに応えたい…考えた結果『足羽利生苑にお店を開いて、買い物に来ていただくのはどうか』という、斬新なアイデアがひらめきました。

四苦八苦しながら

どのようにお店を開店し運営していくと良いか、職員に意見を聴きとることから始めました。初めての取り組みということもあり、不安を抱く職員も多く「お金の支払い方法は？」

のか」「病気の重い方もいるので細かいルールを決めない」と不安」という意見も少なくありませんでした。そのため検討会を開き、多くの課題点をどのように解決していくかを考えていきました。

検討会を重ねていくことで問題点を一つずつ解決していきました。例えば

- ① 支払いは現金でもつけ払いでも買い物ができる。
- ② 利用者の方の把握表を作り、職員がその方の病気や特徴を把握することで、安全に買い物ができる。
- ③ 利用者の方が覚えやすいように、開店日を第1・3週の金曜日に固定する。などです。

そして全職員にお店の名前を募集。誰もがここにこなるようにとの思いをこめて『ニコニコ市場』となり、開店準備が整いました。





苑長 手作りの看板

ニコニコ市場へ いそいそやいませ〜

訪問販売に来てくださる『八百藤』さんご協力のもと、ついに『ニコニコ市場』が開店しました。商品はお菓子やメイソンに、お砂糖や果物なども売っています。早速利用者の方が買い物に来られました。「いらつしやいませ〜」と店員が呼びかけると「おいしそうなものたくさん売ってるの〜」と利用者の方はニコニコ笑顔です。一番の良い点は、品揃え豊富な中から自分で選択して買える物ができるという点です。あつという間にかごの中は商品でいっぱいになっています。また、ご自分でお金を払える方には支払いもしていただき、買い物のお困りを味わっていただくことができました。

次々とやってくるお客さんにより、店内は賑やかで楽しい雰囲気になっていきました。

利用者の方のために

1からのスタートだったので不安もありましたが、利用者の方の「わ〜!!」という歓喜の声と、いきいきと買い物される姿をみて「やって良かった」と心から思いました。今後の目標は、お菓子だけでなく衣服や日用品なども販売していきたいです。またボランティアの方のサポートを借りて、訪問販売だけでなく、地域にあるいろいろなサービスを足羽利生苑に取り入れていけたらと思っています。これからも利用者の方の笑顔のために、さまざまなことに挑戦していきたいです。

足羽利生苑 職員

西田勝俊

足羽利生苑にとつての新しい取り組みが、利用者の方の自己選択や社会資源の活用につながっていきます。これからも地域に開かれた足羽利生苑をめざします。

みんなの広場

手芸が趣味で熱心に取り組まれているAさんの作品を紹介します。



お菓子入れのかごです。



わらじのポーチです。

丁寧な作りの作品からAさんの優しさが伝わってきます。次はどんな作品を作られるのでしょうか。待ち遠しいです。